

阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンターからお届けする

くじゅうだより

TAKE FREE!

春まだ浅いくじゅうの

特集 沓掛山マンサク鑑賞登山

2022-2023 冬号

表紙写真:沓掛山頂から三侯山 (2022.3:24撮影)

くじゅうファンクラブ活動情報

*「くじゅうファンクラブ」は、「くじゅう地区管理運営協議会」の通称名称です。

皆さまのご支援で、
こんな活動をしています。

教育・
普及啓発

自然環境
保全・調査

登山道等
整備活動

やまなみハイウェイ沿線ゴミ拾い

九州の誇るドライブルートであるやまなみハイウェイ沿いにも、残念なことにゴミのポイ捨てや不法投棄が見られます。この秋、多くの人が参加して清掃活動がおこなわれました！

まず10月15日、瀬の本高原から九重にかけての20kmの距離で、やまなみハイウェイ沿線一斉清掃活動がありました(やまなみハイウェイ沿線つながるひろがる実行委員会主催)。200人以上が班に分かれて、歩きながらゴミを拾っていくものです。空き缶などをたくさん回収しました。

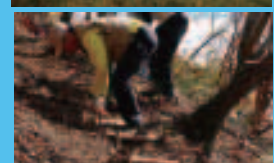
次に11月15日、大分西部森林管理署を中心に環境省・大分県・地元の事業者などの参加で、牧ノ戸峠付近2カ所の不法投棄ゴミの回収作業が実施されました。急斜面を下りて、廃タイヤや家電・作業用具、消火器などさまざまなゴミを回収しました。

大量のゴミは残念でしたが、これらの活動でくじゅうは目に見えてきれいになりました。これからもみんなできれいくじゅうを守りましょう！



登山道の整備を支援しています

昨年度からくじゅうファンクラブでは正会員の活動助成を行っています。今年度は4件の登山道整備活動の助成を行いました。「くじゅうネイチャーガイドクラブ」による①黒岩・泉水山登山道草刈り、②指山草刈り・登山道整備、③坊原登山道整備、「久住高原みちくさ案内人倶楽部」による④大船登山バス終点池窪～入山公墓登山道整備です。草が生い茂った登山道は美しく刈られ、浸食が激しく滑り易かった登山道には土留めが施され、大変歩きやすくなりました。作業にあたった皆様、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。今後も皆様からの支援をもとに、くじゅう連山における正会員の環境保全活動を支援していきたいと思ひます。



阿蘇くじゅう国立公園・タデ原レクチャー <参加費無料/要予約(団体向け)>

学校などの団体向けプログラム。国立公園の概要やタデ原湿原についてなどのレクチャーを15分～30分程度で行います。お気軽にご相談ください。



タデ原の自然観察会 <参加費無料/事前申込不要(個人の場合)>

九重の自然を守る会のボランティアガイドによる人気のイベント。毎週日曜・祝日10:00～12:00に開催しています(12～2月は隔週)。参加希望の方は10時までに、直接ビジターセンターへお越しください。団体でのお申し込みの場合は事前にご相談ください。



(注)天候や新型コロナウイルス感染症の状況によっては、行事を中止することがあります。

玖珠美山高校と登山道を整備しました

11月9日に、地元の玖珠美山高校のみなさんと登山道整備活動を行いました。平成24年から続く活動で、今年で10回目になります。今回作業したのは、長者原からスガモリ越間の坊原登山道です。生徒や先生、協力して下さったスタッフを含む約60名近くの方々と作業を行いました。

生徒のみなさんは現地に着くとスタッフから作業の工程の説明を受け、土が流れ出ることを防ぐ土留めの設置や登山道をおおう草刈りなどを班で協力しながら行いました。慣れない場所での初めての作業ではあったと思いますが、怪我もなく元気に終える事ができました。とてもきれいに登山道が整備され、登山者のみなさんも格段に歩きやすくなったと思います！作業後はスガモリ越までの卒業登山も行い、思い出深い日となりました。



今年も草こづみを作りました！

9月25日に九重町の小中学生から成る「チームタデ原」で草こづみづくりを行いました。草こづみとは冬の間の牛や馬の敷きわらとして利用するために刈った草を積み上げて保存したものです。地域の農家さんを講師に迎え、作り方を教わりました。刈った草を束ねる縄を作ったり、両手いっぱい抱えられる量の草を束ねたりと、1つ1つの工程は難しいものもありましたが、メンバーみんなで協力してとても立派な草こづみを作ることができました。草こづみがほとんど作られなくなった今、草原の活用や歴史、草原と人々の暮らしのつながりを学びました。

12月に入って、作った草こづみを地元の牛農家さんの元へ運びました。牛もとてもおいしそうに食べてくれました！



安全で快適な登山のために(牧ノ戸レクチャー・トイレ)

この秋、牧ノ戸峠では今年も登山レクチャー(くじゅうファンクラブ主催)や久住分かれトイレ清掃運動(大分県自然保護推進室主催)といった啓発活動が行われました。登山レクチャーでは登山届の提出や安全登山のための準備などを呼びかけ、トイレ清掃運動では、清掃のための水の運び上げを通して、山岳トイレの維持管理の困難さについても考えていただけたと思います。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



くじゅうファンクラブでは、上記のような教育・普及啓発活動、自然環境保全・調査活動、登山道等整備活動を実施しています。活動に賛同して下さる賛助会員(個人一口3,000円/年、団体一口10,000円/年)や寄付を募集しています。賛助会員の方には、会員証の発行のほか、缶バッジのプレゼント、お便りの送付などの特典をご用意しています。詳しくはくじゅうファンクラブホームページをご覧ください。(左下にQRコード記載)

くじゅうだより2022-2023冬号

発行元:くじゅうファンクラブ
(くじゅう地区管理運営協議会)

879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野255-33
長者原ビジターセンター

TEL & FAX 0973-79-2154

くじゅうファンクラブホームページ:
<http://kujufanclub.com/>

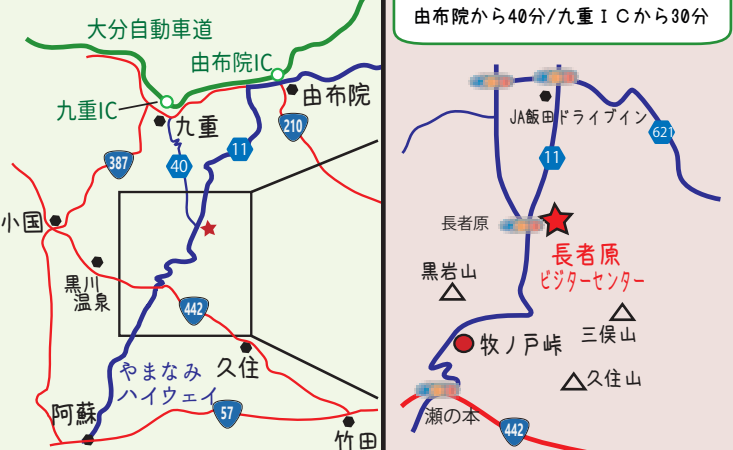
★くじゅうの最新の自然情報
などはフェイスブックで!
<https://www.facebook.com/choujubaruvistor/>

★活動報告やくじゅうの基本情報
などはくじゅうファンクラブ
ホームページで!
<http://kujufanclub.com/>

リレ-式 職員からのひそこ

今年も冬がやってきました！くじゅうの冬といえば雪！九州本土最高峰のくじゅう連山では、冬の季節風の影響を受けてたっぷり雪が降ります。昨シーズンは北千里や大船山周辺の吹き溜まりで、ひざ上の積雪をラッセルするという、たいへん楽しい経験もできました。霧氷や雨氷も、何でもない木をイルミネーションのように飾ってくれます。「こたつでみかん」も魅力的ですが、思い切って足を運んでみませんか？(大島)

長者原ビジターセンターへは



長者原ビジターセンターまで車で、 由布院から40分/九重ICから30分

